

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	教職概論				授業形態	講義			
科目コード	750064	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	後藤 吉道							ICT活 用	○
授業概要	本授業の目的は、教職についての理解を深め、教職に就くことについて多角的に考察することによって、主体的に学び続ける態度を形成することです【態度・志向性の育成】。授業では、(1)教職の意義、教員の役割と職務内容、(2)チーム学校への対応、(3)今日の教育が抱える課題と教師が抱える困難について学び【職業知識・技能の育成】、それらについてグループワークなどを通して多角的に考察し、これから進むべき道を選択できるようにします【自己管理力・生涯学習力】。								
関連する科目	教育原理								
授業の進め方 と方法	毎回の授業にて、アクティブラーニング型授業を展開します。授業は、(1)教職の意義、教員の役割と職務内容、(2)チーム学校への対応を学ぶことを通して、(3)今日の教育が抱える課題と教師が抱える困難の三部構成とし、それぞれについて講義するとともに【知識・理解の獲得】、グループワークを通して各自の教育観を多角的に考察し、深めます【汎用的技能の育成】。								
授業計画 【第1回】	オリエンテーション：自分の教師像を確認する								
授業計画 【第2回】	教師に「なる」には								
授業計画 【第3回】	児童とのラポートを築く								
授業計画 【第4回】	理想の教師像とは								
授業計画 【第5回】	教師になるために大学で学ぶことは								
授業計画 【第6回】	研修と自己研鑽の必要性 教職の意義、教員の役割と職務内容について学びます。								
授業計画 【第7回】	「法」のなかで生きる教員とは								
授業計画 【第8回】	教師の役割と仕事								
授業計画 【第9回】	チーム学校で求められる教師の能力								
授業計画 【第10回】	「授業」とは何だろう								

授業計画 【第11回】	想定外の事象への準備
授業計画 【第12回】	ファシリテーターとしての教師の在り方
授業計画 【第13回】	思考する主体としての子どもを形成するために教師はどうかかわるのか
授業計画 【第14回】	子どもたちの「多様性」と向き合うために
授業計画 【第15回】	まとめ：学び続ける教師であるために
授業の到達目標	1 教職の意義、教員の役割と職務内容を説明できる。 2 チーム学校への対応に必要な能力を説明できる。 3 今日の教育が抱える課題と教師が抱える困難にどのように対応すべきか多角的に考察できる。 4 学び続ける教師であるためにこれから取り組むべきことを説明できる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／*
授業時間外学習【予習】	授業中に次の授業内容を提示します。次の授業までに確認してください。(30分程度)
授業時間外学習【復習】	授業後には、授業で学んだ内容をふりかえり、要点を整理してください。(30分程度)
課題に対する フィードバック	講義にて記載したプリントは、疑問点やさらに考えを深めるコメントを次の授業で取り上げ全体で共有します。
評価方法・基準	講義にて記載したプリント 40点 講義態度(発言・姿勢) 20点 レポート 40点
テキスト	なし
参考書	なし
備考	毎回講義にて記載したプリントを提出してもらいます。